

施設『ピナウオーク』は、開業から13年たった現在でもその勢いは衰えず、市内外から多数の人が来場しています。

なお、海老名駅発着で羽田空港直通運行の『空港リムジンバス』が出ていますので、飛行機でお越しの方でも、歴史公園や『ピナウオーク』に簡単に行くことができます。

神奈川県唯一のサービスエリア

人気サービスエリアとしてテレビで取り上げられたこともある『海老名サービスエリア』は、上下線合わせた利用客数が全国一ともいわれる日本有数のサービスエリアです。『海老名サービスエリア』でしか



▲国指定史跡「相模国分寺跡」(海老名市提供)



▲歩いて楽しめる『ピナウオーク』(海老名市提供)



▲ドライブの休憩に最適な『海老名サービスエリア』(海老名市提供)

食べられないオリジナルメニューを出す飲食店などが並び、特に、下り線側で売っている、生地にメロン果汁を使った中まで緑色の『海老名メロンパン』が大変人気です。

なお、上り線側の『EXPPASA 海老名』は、高速道路利用者以外の方でも入ることができ、海老名駅から100円で乗車できる『コミュニティバス』なども出ています。上り線側では『かながわの名産100選』である『吟味豚』なども販売しています。

海老名市に遊びに行きませんか

海老名市の観光名所は、これまで紹介してきたものだけではなく、弥生時代末期から古墳時代初頭に造ら

れた国指定史跡『秋葉山古墳群』、国指定重要文化財の木造千手観音立像がある『龍峰寺』、道沿いに神社や神奈川県指定天然記念物『海老名の大櫓』などが並び『大古道』などもあります。また、ことしの秋には、海老名駅西口に新たな大型商業施設が開業する予定です。

7月26日(日)には、前年に約14万人の方が来場した一大イベント『えびな市民まつり』が開催されます。平成23年から登別市の物産を販売し、ことしも販売を予定しているほか、会場の『海老名運動公園』には登別市から寄贈されたポニーがいます。登別市に関わりのあるイベントが開催されるこの機会に、ぜひ姉妹都市・海老名市に遊びに行きませんか。

登別市と海老名市

登別市は、海老名市の7倍以上ある市面積の約7割が山林で、自然に恵まれています。海老名市は、登別市より小さい市面積の中で2倍以上の人びとが暮らし、人口密度が登別市の20倍以上もあります。

	登別市	海老名市
市制	昭和45年8月	昭和46年11月
人口世帯数	50,306人 25,059世帯 (5月31日現在)	129,578人 53,191世帯 (6月1日現在)
面積	212.21平方* _{km}	26.59平方* _{km}

平成26年

1月 登別市連合町内会役員、登別市文化協会役員が海老名市を訪問し、民間交流を実施

4月 海老名市から登別市内の病院に対し、救急車両1台を寄贈

10月 海老名駅前『えび〜にゃハウス』を出店し、登別市と白石市の特産品を常時展示、販売

11月 海老名市・白石市姉妹都市提携20周年記念式典の祝賀会で、白石市長立ち会いの下、登別市長と海老名市長が『登別市・海老名市姉妹都市締結への決意書』に署名

12月 登別市内8団体から、登別市、登別市議会へ『海老名市との姉妹都市締結に向けての要望書』の提出

平成27年

3月 登別市議会定例会で、海老名市との姉妹都市提携について議決

3月 海老名市の最高経営会議にて決定した『登別市との姉妹都市提携について』を、議会全員協議会へ報告

5月 3市長が登別市・海老名市の『姉妹都市盟約書』に署名

▼問い合わせ

総務グループ

(☎) 1130